

問題 1

当工場では、直接作業時間を基準にして製造間接費を予定配賦している。年間の予定直接作業時間は12,000時間であり、年間の製造間接費予算は14,400,000円である。20X1年9月は、製造指図書#1201と#1202の製造に着手した。月初仕掛品はない。＜資料＞に基づいて、①～⑤の連続した取引の仕訳を示しなさい。なお、当工場において使用している勘定科目は、現金、材料、仕掛品、製品、貸金・給料、製造間接費、および原価差異である。

＜資料＞

- ① 20X1年9月1日から30日までの材料および貸金・給料の消費高：

	<u>#1201</u>	<u>#1202</u>	<u>番号のないもの</u>
材料	1,500,000円	1,050,000円	195,000円
貸金・給料	1,200,000円	750,000円	900,000円

- ② 製造指図書#1201について、メッキ加工代555,000円支払った。
- ③ 予定配賦率をもちいて、製造間接費を各製造指図書に配賦した。20X1年9月における直接作業時間は次の通りであった：

	<u>#1201</u>	<u>#1202</u>
直接作業時間	500時間	400時間

- ④ #1201が完成した。
- ⑤ 製造間接費配賦差異を計上した。ただし、20X1年9月における製造間接費の実際発生額は、上述したものを含めて、総額で1,200,000円であった。

問題2

MUK製作所は、製品ABを製造・販売しており、先入先出法による実際総合原価計算を適用しており、加工費は予定配賦している。＜資料＞に基づいて、①～⑤の金額を計算しなさい。

＜資料＞

(1) 生産データ

	<u>製品AB</u>
月初仕掛品	2,000 kg (0.7)
当月投入	12,000 kg
完成品	12,500 kg
月末仕掛品	1,500 kg (0.6)

- () 内の数値は仕掛品の加工費進捗度を表している。
- 原料はすべて工程の始点で投入される。

(2) 月初仕掛品の原価データ

		<u>製品AB</u>
月初仕掛品	原料費	2,150,000円
	加工費	2,660,000円

(3) 原料棚卸高

月初有高	1,000,000円
月末有高	875,000円

(4) 原料当月仕入高 13,375,000円

(5) 当月実際直接作業時間 3,600時間

(6) 加工費年間予定額 273,000,000円

(7) 年間予定直接作業時間 43,680時間

仕 掛 品		(単位：円)
期首有高 (各自計算)	当期完成高 (④)	
当月製造費用：	期末有高 (⑤)	
原料費 (①)		
加工費 (②)		
(③)		(③)

問題3

多くの商品を取り揃えている食品スーパーのX社は現在、惣菜に力を入れている。X社の惣菜部門は「サラダ」、「煮物」、「揚物」、「丼」の4つの分野から成っている。同社では商品別損益計算書を通じて営業活動を管理しているが、ここ数カ月間、「煮物」の営業状況が思わしくなく、「煮物」の販売を止めるべきか否かを検討している。過去12カ月の平均的な毎月の「サラダ」、「煮物」、「揚物」、「丼」の損益計算書は下記のとおりである。この<資料>に基づいて「煮物」を、①廃止すべきか否か、②その根拠となる計算結果、を示しなさい。

	サラダ	煮物	揚物	丼
売上高	1,800,000 円	1,400,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円
売上原価	530,000 円	540,000 円	510,000 円	580,000 円
粗利益	1,270,000 円	860,000 円	1,090,000 円	1,020,000 円
その他の変動費	120,000 円	190,000 円	160,000 円	160,000 円
限界利益	1,150,000 円	670,000 円	930,000 円	860,000 円
個別固定費	180,000 円	180,000 円	180,000 円	200,000 円
共通固定費	675,000 円	525,000 円	600,000 円	600,000 円
営業利益（損失）	295,000 円	△35,000 円	150,000 円	60,000 円

なお、X社では固定費を個別固定費と共通固定費とに区分し、各分野のために発生したことが明らかな固定費を個別固定費、惣菜部門で共通的に発生した固定費を共通固定費としている。共通固定費は各分野の売上高に応じて配賦している。

問題 4

以下の問題について解答しなさい。

- ① 標準原価計算と原価企画を原価管理機能の観点から各技法の概念，計算技法について，それぞれの長所と短所（限界）を中心に説明しなさい。
- ② 割当予算と積上予算の特徴について，それぞれ説明し，相違点について論点を明確にして説明しなさい。

問題5

次の用語について説明しなさい。

- ① 「異なる目的には異なる原価を」の意味
- ② 正常操業圏
- ③ レレバンス・ロスト